

## 「 岐阜県発日本一、世界一 ~6月~ 」

## スポーツ健康課 スポーツ振興担当

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)	
第32回全日本女子パワーリフティング 選手権大会 女子90kg級	1位	H20.6.6	加藤みどり (きくいけ整形外科)		トータル432.5kgで優勝し、4連覇を果たした。これにより11月にカナダで行われる世界選手権への出場を決めた。 (兵庫県神戸市:神戸市中央体育館)	
2008日本学生陸上競技個人選手権大会 女子400m	1位	H20.6.7	青木沙弥佳 (福島大4年)	県岐阜商高卒	400m:54秒66、400m障害:57秒02とともに大会新記録をマークし存在感をアピールした。 (神奈川県平塚市:平塚市総合公園平塚競技場)	
	女子400mH	1位				H20.6.8
	女子三段跳び	1位	H20.6.7	吉田 麻佑 (福岡大1年)	県岐阜商高卒	安定した跳躍で2位に30cm以上の差をつけた。 (同上)
第58回全日本学生フェンシング王座決定戦 女子エペ	1位	H20.6.8	朝日大		全種目とも関西1位として出場し、準決勝(対日本大)、決勝(立命館大)とも接戦を制しての初優勝した。フルーレ、サーブルは一步及ばず準優勝で大会を終えた。 (東京都八王子市:中央大学体育館)	
	女子フルーレ	2位	朝日大			
	女子サーブル	2位	H20.6.8	朝日大		
	男子フルーレ	3位	H20.6.8	朝日大		
	男子サーブル	3位	H20.6.8	朝日大		
第11回全日本自転車競技選手権大会 トラック・レース ケイリン	1位	H20.6.15	永井 清史	JPCU岐阜	安定した走りで貫禄の優勝を果たした。 (群馬県前橋市:グリーンドーム前橋)	
	男子4km団体追抜競走	1位	岐阜県選抜 井関太一(朝日大3年) 横関裕樹(朝日大4年) 岸本直樹(順天堂大4年) 高橋翔太(日本大1年)	岐南工高卒	メンバー全員が岐南工高OBで編成され、息の合ったレース展開で見事優勝した。 (同上)	
	男子4km個人追抜競走	2位	H20.6.15	川西 貴之 (日本大4年)	岐南工高卒	得意の4km個人追抜競走であり、法政大の穂苅を揺さぶったが、惜しくも2位でレースを終えた。(同上)
	男子40kmポイントレース	3位	H20.6.15	丹羽 泰雄 (岐南工高3年)		35ポイントを獲得し、今大会、高校生で唯一の入賞を果たした。(同上)
第37回全日本フィールドアーチェリー 選手権大会 男子コンバウンド	1位	H20.6.22	山田 彰	トーカーイ	落ち着いた試合運びで決勝では58-57の接戦を制した。 (北海道芽室町:新嵐山スカイパーク特設フィールドアーチェリーコース)	
第92回日本陸上競技選手権大会 女子400mH	2位	H20.6.27	青木沙弥佳 (福島大4年)	県岐阜商高卒	安定した力で、記録が期待されていたが、大学の先輩である丹野、久保倉選手らに阻まれ、優勝を逃した。 (神奈川県川崎市:川崎市等々力陸上競技場)	
	女子400m	3位	H20.6.29	青木沙弥佳 (福島大4年)		県岐阜商高卒
	男子走り幅跳び	2位	H20.6.28	品田 直宏 (濃飛倉庫運輸)		
	男子1500m	1位	H20.6.29	小林 史和		中京商高卒 (現中京高)